

第6節 県内におけるばい煙発生施設数等の年度別推移

1 ばい煙発生施設数の年度別推移

種 類 \ 年 度	17	18	19	20	21
ボ イ ラ ー	2,015	2,004	1,977	2,002	2,021
金 属 溶 解 炉	165	167	167	167	177
金 属 加 熱 炉	166	159	168	172	171
焼 成 炉 ・ 溶 融 炉	70	73	72	78	78
乾 燥 炉	96	102	100	100	96
電 気 炉	23	23	22	23	23
廃 棄 物 焼 却 炉	56	56	57	58	57
銅・鉛・亜鉛精錬用施設	2	3	3	3	3
塩素・塩化水素反応施設	69	68	66	58	59
ガ ス タ ー ビ ン	80	81	83	89	87
デ ィ ー ゼ ル 機 関	265	276	276	280	282
そ の 他	55	52	53	54	57
合 計	3,062 (100)	3,064 (100)	3,044 (99)	3084 (101)	3,111 (102)

注 () は、17年度を100とした指数である。

2 燃料使用量の年度別推移

(単位：千 kL)

燃料の種類		年 度				
		17	18	19	20	21
A	重油	248 (100)	224 (90)	206 (83)	197 (79)	188 (76)
C	重油	352 (100)	243 (69)	517 (147)	384 (109)	190 (54)
	原油	180 (100)	195 (108)	328 (182)	237 (132)	75 (42)
	石炭等 [※]	847 (100)	864 (102)	880 (104)	888 (105)	500 (59)
小	計	1,627 (100)	1,526 (94)	1,931 (119)	1,706 (105)	953 (59)
	灯油	349 (100)	304 (87)	296 (85)	269 (77)	307 (88)
	軽油	373 (100)	360 (97)	348 (93)	317 (85)	314 (84)
	ガソリン	550 (100)	549 (100)	548 (100)	524 (95)	541 (98)
合	計	2,899 (100)	2,739 (94)	3,123 (108)	2,816 (97)	2,115 (73)

注 1 この表は、石油連盟及び県内事業所の資料を基に集計したものである。

2 () は、17年度を100とした指数である。

3 石炭等(※)は、石炭及びコークス、オイルコークスの使用量をそれぞれ重油相当に換算し、これらを合計した量である。

3 自動車保有台数の年度別推移

(単位：台)

用途、種類		年 度				
		17	18	19	20	21
貨物用	普通車	29,327	29,228	28,730	27,597	26,624
	小型車	50,223	48,625	46,963	44,901	43,083
	被けん引車	899	941	935	958	908
	軽自動車	100,019	98,474	97,380	96,200	94,701
乗合用	普通車	853	847	828	811	813
	小型車	1,455	1,441	1,425	1,383	1,353
乗用	普通車	147,183	149,255	150,539	150,420	152,643
	小型車	314,336	308,691	300,370	294,391	289,158
	軽自動車	192,859	202,033	210,608	219,470	225,896
特種用途車	18,678	18,591	19,636	19,412	18,133	
二輪	19,857	20,039	20,274	20,622	20,782	
総	数	875,689	878,165	877,688	876,165	874,094

注 北陸信越運輸局富山運輸支局調べによるもので、それぞれ年度末現在の台数である。